

- 農家が乳用育成牛を公共牧場へ預託することにより、飼料の確保や労働時間の軽減が図られ、生産コスト軽減や所得の向上につながる。
- 浜頓別町では、TMRセンターの設立による分業制や法人化による規模の拡大が急速に進行しており、酪農家の経営基盤強化の道を閉ざすことがないよう、早期に公共牧場整備を行い、農家の預託要望に応えることが喫緊の課題である。
- 農家及び公共牧場の飼料生産基盤の整備により、単位収量は24.3t/ha→38.8t/ha、並びに飼料自給率は55.2%→58.8%に向上することが見込まれ、高品質な粗飼料生産の増大や作業効率向上による生産コストの低減へとつながり、地域農業の振興が図られる。

1 目 的

北オホーツク畜産センターでは、乳用育成牛の預託頭数増加により、飼養管理に支障を来しており、農家からの預託要望に十分に答えられていない。  
また、町内では、経営規模の拡大が急速に進んでおり、労働力及び良質粗飼料の確保が喫緊の課題である。  
このため、農家及び公共牧場基盤の整備を行い、良質粗飼料の確保と農家の労働軽減を図り、個別経営体における飼料基盤に立脚した畜産経営の安定と拡大を目指す。

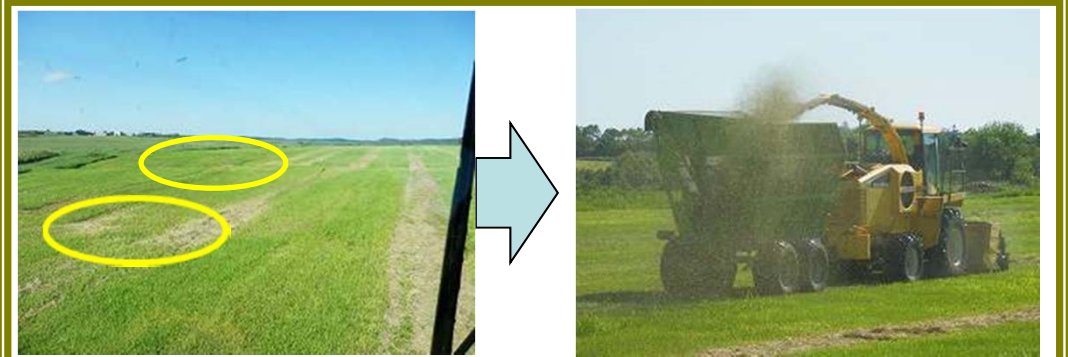
- 2 関係市町村: 北海道枝幸郡浜頓別町
- 3 事業主体: 北海道
- 4 事業実施期間: 平成29～33年度
- 5 総事業費: 950,000千円(うち国費475,000千円)
- 6 受益面積: 756.9ha(整備面積 361.1ha)
- 7 事業参加者: 9戸(浜頓別町、農家8戸(うち認定農業者8名))
- 8 整備内容: 草地整備改良 360.7ha、草地造成改良 0.4ha、農道整備 1,376.0m、家畜保護施設整備(哺育牛舎)1棟、飼料調製貯蔵施設整備(バンカーサイロ)3基、家畜排せつ物処理施設整備(堆肥舎)1基等

浜頓別町の位置

浜頓別町

事業実施による効果

|        | 現況         | 計画         | 増加割合    |      |
|--------|------------|------------|---------|------|
| 飼料基盤面積 | 3,209.4 ha | 3,209.8 ha | 0.0%    |      |
| 牧草収量   | 24.3 t/ha  | 38.8 t/ha  | 59.7%   |      |
| 家畜飼養頭数 | 乳用         | 1,915 頭    | 1,997 頭 | 4.3% |
|        | 肉用         | 0 頭        | 0 頭     | 0.0% |
| 飼料自給率  | 55.2%      | 58.8%      | 6.5%    |      |



経年変化による草地の不陸や排水不良のため、ほ場作業の効率性低下や野草の混入による粗飼料の質の低下が発生。

北オホーツク畜産センター

整備のイメージ  
草地整備改良を行うことにより、不陸や排水不良が解消され、高品質な粗飼料生産や作業効率向上による生産コストの低減が図られる。

